

漁況情報 No.20 平成 19 年 11 月 26 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

<< トピックス >>

サケ(定置網)の水揚げは前年を上回りました。

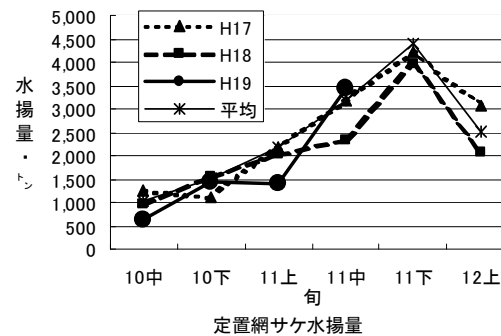
サンマ(棒受網)の水揚げは好調です。

スルメイカ(イカ釣り)の水揚げは減少し、過去 5 ヶ年平均並となりました。

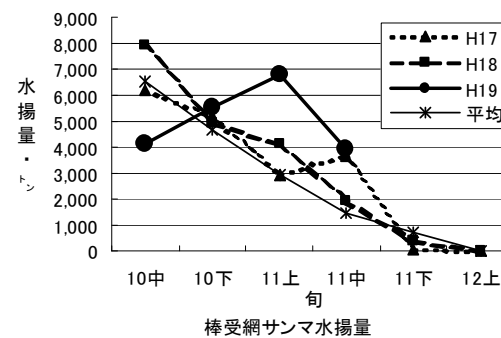
ブリ(定置網)の水揚げが増加しました。

1. 水揚げ状況

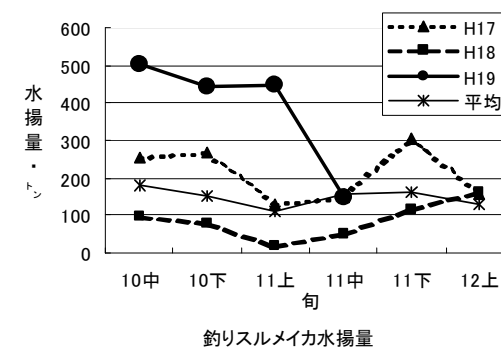
(1) サケ(定置網)は宮古を中心に水揚げがあり、11月中旬の水揚げ量は3,431トン(前年同期の1.5倍)でした。また、11月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は3,171トンで、旬水揚げはそれと同程度でした。年累計は7,769トン(前年同期並)です。



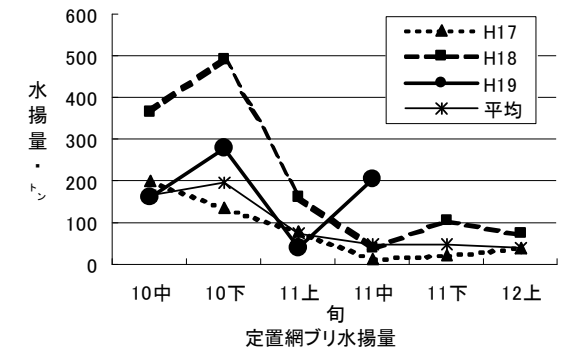
(2) サンマ(棒受網)は宮古、大船渡を中心に水揚げがあり、11月中旬の水揚げ量は3,942トン(前年同期の2.0倍)でした。また、11月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は1,441トンで、旬水揚げはその2.7倍でした。年累計は40,399トン(前年同期並)です。



(3) スルメイカ(イカ釣り)は久慈を中心に水揚げがあり、11月中旬の水揚げ量は147トン(前年同期の2.6倍)でした。また、11月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は155トンで、旬水揚げはそれと同程度でした。年累計は7,199トン(前年同期の6.5倍)です。



(4) ブリ(定置網)は山田、大船渡を中心に水揚げがあり、11月中旬の水揚げ量は203トン(前年同期の5.2倍)でした。また、11月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は50トンで、旬水揚げはその4.1倍でした。年累計は1,956トン(前年同期の1.2倍)です。



*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。

2. 調査結果、その他の情報

◎ブリ精密測定結果

11月中旬に水揚げされたブリ(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。ブリは大きさによって呼称が変わります。11月中旬に漁獲されたのは「ワラサ」銘柄で、53~54cm主体でした(図1)。8月下旬の同銘柄と比べて1~4cm程度大きくなっていました。

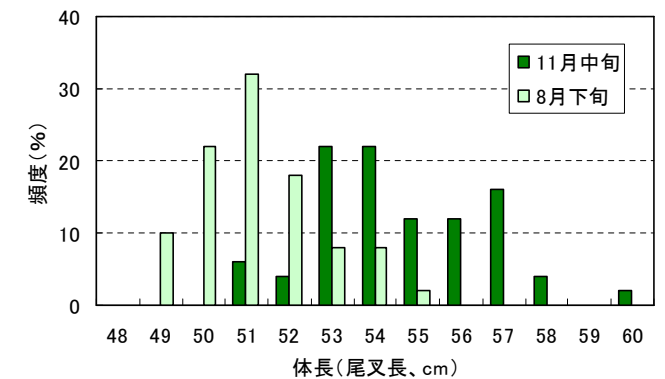


図1 ブリ(ワラサ)体長組成

◎サバ類精密測定結果

11月中旬に水揚げされたサバ類(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。体長は27、33~34、38~39cmにピークがあり、小型から大型まで混ざった漁獲となりました(図2)。本県で水揚げされるサバ類には、マサバとゴマサバがあります。両種は体長と背びれの長さの比で判別できます(判別指数: 12以上がマサバ、12未満がゴマサバ、判別方法は漁況情報 No.9 参照)。今回測定したサバはすべてゴマサバで、6月下旬(ゴマサバの割合38%)から11月中旬にかけてゴマサバの割合が上昇する傾向がみられました。

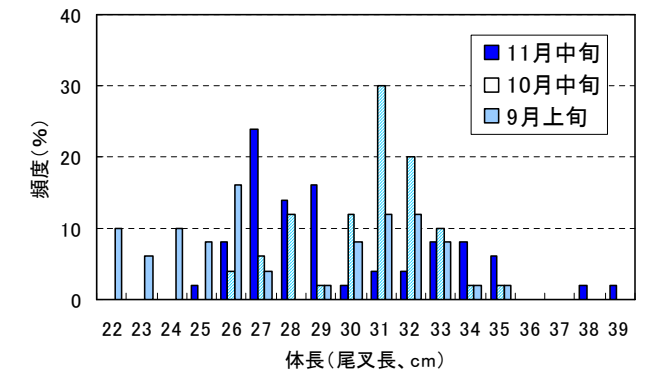


図2 サバ類体長組成

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。